

2010年度

科目名	日本語学概論B		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文1(2111)	コード	31070
開期	後期	講時	水曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	日本語に関する基礎知識を身につける		
目的と概要	日本語語学入門として、これまで日本語学が明らかにした日本語に関する一般的知識、及び日本語の研究手法について概説する。		
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)		
テキスト	『図解 日本語』(沖森卓也他 三省堂)		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気を壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション (講義計画・評価方法の説明)</li> <li>2 日本語学の意義 (前期内容の応用)</li> <li>3 日本語の語彙 (語構成)</li> <li>4 日本語の語彙 (語義)</li> <li>5 日本語の語彙 (語義)</li> <li>6 日本語の語彙 (語彙の体系)</li> <li>7 日本語の語彙 (雅語・俗語・新語・流行語)</li> <li>8 日本語の語彙 (雅語・俗語・新語・流行語)</li> <li>9 日本語の語彙 (方言)</li> <li>10 日本語の語彙 (方言)</li> <li>11 日本語の文法 (文法の考え方・文法学説)</li> <li>12 日本語の文法 (品詞を巡る問題)</li> <li>13 日本語の文法 (ムード・テンス・モダリティ)</li> <li>14 日本語の文法 (ムード・テンス・モダリティ)</li> <li>15 本講義の総括</li> </ol>			